

小学校 外国語活動 部会

部会長 川崎町立池尻小学校 校長 森 隆子
研究員 香春町立勾金小学校 講師 松田 美穂
実践者 川崎町立川崎東小学校 主幹教諭 西畑 いせ

1 研究主題

外国語を使って、積極的にコミュニケーションを行う外国語活動の在り方
～HRTが行う英語に触れさせる活動を通して～

2 主題設定の理由

(1) 社会の要請から

近年、社会や経済のグローバル化が急速に発展し、人的・物的・情報の流動性が高まり、日本人の英語使用の頻度が高まった。また、異なる文化の共存や持続可能な発展に向けての国際協力が求められるようもなった。その結果、産業界をはじめ、社会全体において日本人の英語運用能力の向上を求める声が高まっている。そのため、学校教育においては、外国語教育を充実させ人材を育成することが課題の一つとなっている。

特に教科となった場合の学級担任の指導力が求められている。そこで小学校教員が英語の専門性を高めるとともに、併せて専科指導を行う教員を活用しながら、学校全体としてどう取り組むかを究明する必要がある。

多くの子どもが、初めて母国語以外の言語に触れるという実態があり、外国語活動が子どもたちの興味・関心を失わせるような内容であったり、負担感を持たせるような活動になったりすることは、英語嫌いをつくりかねない。そこで、小学校外国語活動においては、子どもの日常生活に身近な英語を扱うことを重点に置き、音声を中心として身振り手振りや表情などによって体験的なコミュニケーションを行うことを重視する。そのため、コミュニケーションを楽しみながら、子どもたちが外国語に慣れ親しんでいくという活動内容の工夫が求められている。そこでICTの活用をするなど、誰もができる指導方法を開発することがテーマであると考え実践した。

(2) 外国語活動のねらいから

学習指導要領に示されている外国語活動の目標は以下の通りである。

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

この目標には3本の柱があり、以下のようにまとめることができる。

外国語を通じて、

- 言語や文化について体験的に理解を深めること
 - 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ること
 - 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませること
- により、コミュニケーション能力の素地を養う。

また、学習指導要領の「第2 内容」では、「外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図る」ことを目指した指導において、[コミュニケーション面の指導事項]として、以下の3点を示している。

- 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。
- 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

つまり、小学校外国語活動においては、知識やスキルの定着を目ざす活動ではなく、コミュニケーションそのものの意義にふれる体験的な活動を行うことが重視されることが分かる。また、コミュニケーションの楽しさを味わうことなしに、コミュニケーションへの積極的な態度を育成することは難しいとも述べられている。以上のことから、本研究主題を設定した。

3 主題の意味

(1) 「積極的にコミュニケーションを行う外国語活動」とは

学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取り扱い」の内容の取り扱い2 (2) では、「オ 外国語でのコミュニケーションを体験させるに当たり、主として次に示すようなコミュニケーションの場面やコミュニケーションの働きを取り上げるようにすること」とし、〔コミュニケーションの場面の例〕として、

(ア) 特有の表現が使われる場面、〔あいさつ・自己紹介・買い物・食事・道案内など〕 (イ) 児童の身近な暮らしにかかわる場面〔家庭での生活・学校での学習や活動・地域の行事・子どもの遊びなど〕が挙げられている。

また、〔コミュニケーションの働きの例〕として、

- (ア) 相手との関係を円滑にする
- (イ) 気持ちを伝える
- (ウ) 事実を伝える
- (エ) 考えや意図を伝える
- (オ) 相手の行動を促す

と示されている。つまり、「積極的にコミュニケーションを行う外国語活動」とは、授業において設定された様々な場面において、目的に応じたコミュニケーションの働きがより効果的に実現できるよう、児童が積極的に活動する学習であると考えられる。

(2) 「外国語で話すことの楽しさを体験できる言語活動の充実」とは

『言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】』（平成22年12月 文部科学省）では、言語活動の充実を図る際に、各教科等の特質を踏まえることが大切であるとされている。外国語活動の特質とは、「外国語を通じて」言語活動を行うことにある。そして、その外国語での言語活動において、互いに分かり合えるという体験が楽しいコミュニケーションにつながると考えられる。

授業において、子どもたちは自分にとって不慣れな外国語を用いるため、相手の表情やジェスチャー、言葉のイントネーション等から、相手の言っていることを一生懸命理解しようとする。また、自分を理解してもらおうと努力する。相手の言っていることが理解できたり、自分が理解してもらえたりしたときの喜びは大きい。例えば、Do you like broccoli?では「〇〇が好き?」「はい。私は〇〇が好きです。いいえ。私は〇〇が好きです」といったやりとりも、英語で行うことで、子どもにとって「自分のことを伝えたり、友だちのことを知ったりすることができた。」という楽しいコミュニケーションになる。自己理解や他者理解にもつながると考える。

そのことを踏まえ、「外国語で話すことの楽しさを体験できる言語活動の充実」とは児童が外国語を話したり聞いたりする必然性があり、互いに伝え合いたくなるような活動を学習展開の中に設定するこ

とと考える。 具体的には、以下の通りである。

How is the weather today?

It's rainy. It's sunny. It's snowy. It's cloudy. It's windy.

日常生活に頻繁に出てくる天気の話題が話せる。

Hello. How are you?

I'm good. I'm great. I'm wonderful.

I'm tired. I'm hungry. I'm not so good.

日常のあいさつや自己の感情表現の仕方を学ぶ。

Do you like broccoli?

Yes, I do. I like broccoli.

No, I don't. I like cake.

相手の好きなものが聞けたり、自分の好きなものが言えたりしてコミュニケーションをはかる。

Head Shoulders Knees and Toes

Eyes and Ears and Mouth and Nose

動画に合わせて歌いながら踊りながら体の部分を覚える。

さらにテンポをあげてリズムカルに動くと一層楽しいものとなる。

Rock Scissors Paper

子どもたちはじゃんけんが好きである。

英語でじゃんけんをしながら神経衰弱などのゲームをする。

4 研究の目標

○外国語を使って、積極的にコミュニケーションを行う児童を育成するために、日ごろから外国語を多く取り入れ、まずはリスニングにポイントを絞る。コップにあふれるほどの外国語を注げば、アウトプットしやすいのでICTを使って耳や目から英語を音楽のように浴びせるようにする。

○ 外国語活動の基本は楽しく学ぶ、動作を通して自然に身につく、外国語独特の音に興味を持ち、異文化に触れたいという気持ちを促進させるなどの目的がある。

動画や音楽を使って外国語に親しむことにより、ネイティブの音声にじかに触れ、正しい発音で正確に聞かせることができるようにする。

5 研究仮説

外国語活動の学習指導において、言語活動を充実させ、工夫すれば、児童は外国語を使って積極的にコミュニケーションを行うことができるであろう。

[仮説実証のための着眼点]

① 新しい情報を友だちや教師とやりとりし合うような活動や、外国語を使いながら体験的な活動を行うなど、相互理解や自分の考え・意図を伝える楽しさを持つコミュニケーション活動を

単元及び一単位時間の学習展開の中に位置づける。

* 新しい情報を友だちや教師とやりとりし合うような活動や、外国語を使いながらの体験的な活動の例

・インタビュー・クイズ・Show and Tell・外国人との調理実習など

② 子どもたちの外国語活動への意欲や態度を高められるよう、日ごろから英語の歌を聞かせる。授業ではその歌を使って進めていく。

例 Bob Mary One love one heart let's get together and feel all right.

6 授業の実際 5年生 〈 Hi, friends!1 Lesson 5 〉

(1) 単元

What do you like? 友だちにインタビューしよう (4 時間)

(2) 目標

- 好きなものについて、すすんで尋ねたり答えたりしようとする。(コミュニケーション)
- 色や形、好きなものは何かを尋ねたり答えたりする英語の表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)
- 日本語と英語の音の違いに気づく。(言語や文化)

(3) 指導計画 (4 時間)

	ねらい	主な活動	使用するフレーズ・単語
1 10 / 15	色や形の言い方を知り、日本語と英語の音の違いに気づく。	[Warming up] ○ 『キーワード・ゲーム』 [Main activities] ○ 『聞き取りクイズ①』 (" Hi, friends!1 " P.18,19 Let' s Listen1) ○ 『聞き取りクイズ②』 (" Hi, friends!1 " P.18,19 Let' s Listen2) [Looking back] ○ ♪ チャンツ "What color do you like? (" Hi, friends!1 " P.20 Let' s Chant)	white, green, yellow, brown, red, pink, block, purple, color, colorful, triangle, star, circle, heart, shape, big, small, T-shirt What do you like? I like a red T-shirt.
2 10 / 23	好きなものを尋ねる言い方や答える言い方を知り、自分の好きな色や形を答える。	[Warming up] ○ 『ポインティングゲーム』 [Main activities] ○ 『自分のTシャツをデザインしよう』『自分のデザインしたTシャツを紹介しよう』 [Looking back] ○ ♪ チャンツ "What color do you like?"	What do you like? I like a red T-shirt. What color do you like? I like blue. This is my T-shirt.

		(" Hi, friends!1" P.20 Let' s Chant)	
3 11 / 6	インタビュー活動を通して、好きな色や形を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しむ。	[Warming up] ○『ミッシング・ゲーム』 ○『キーワード・ゲーム』 [Main activities] ○『インタビューをしよう』 [Looking back] ○♪チャンツ "What color do you like? (" Hi, friends!1" P.20 Let' s Chant)	What color do you like? I like blue. What shape do you like? I like triangle.
4 本 時 11 / 9	友達とペアになり、相手の好きな模様の T シャツをデザインするために、好きな色や形を尋ねたり答えたりする。	[Warming up] ○キーワード・ゲーム [Main activities] ○『友達の T シャツをデザインしよう』 ○『自分のデザインした T シャツを紹介しよう』 [Looking back] ○♪チャンツ "What color do you like? (" Hi, friends!1" P.20 Let' s Chant)	What color do you like? I like blue. What shape do you like? I like triangle. What do you like? I like big blue triangle. How many? Two. This is ~ 's T-shirt.

(4) 本時 第4時(4/4) 11月9日(月) 5校時

①本時主眼

- 友だちの好きな色や形のついた T シャツを作るために、友だちに好きな色と形を尋ねたり、友だちの質問に伝わりやすいように大きな声ではっきり答えたりする。

(コミュニケーション)

- "What color do you like?" "What shape do you like?" "What do you like?" "I like ~." の表現を発話しながら、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。(慣れ親しみ)

②準備 ワークシート(無地の T シャツ) ハートや星などの形のカード 振り返りカード

③本時の展開

児童の活動	HRT の支援	評価
<p>[Warming up]</p> <p>1. 始めの挨拶をする。 Hello, Mr. /Ms.~. I' m~,thank you. And you?</p> <p>2. 『キーワード・ゲーム』をする。 ・絵カードの色・形の発音をリズムに合わせて練習をする。</p>	<p>[Warming up]</p> <p>○ 笑顔で気楽な雰囲気を作り、挨拶をする。 Hello, everyone. How are you today?</p> <p>○『キーワード・ゲーム』を行うことにより、前時の学習を想起させ、授業に向かう意欲を高めさせる。</p> <p>○本時の学習で使う単語であることを伝え、</p>	

<p>・友だちを頼らず、大きな声が出るようにする。</p> <p>3. めあてを確認する。</p> <div data-bbox="161 436 635 624" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 友だちの T-シャツをつくるために、好きな色や形について、インタビューしよう。</p> </div> <p>[Main activities]</p> <p>4. 活動『友達のTシャツをデザインしよう』をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな色・好きな形を考える。 ・HRTのデモンストレーションを見て、活動のイメージをつかむ。 <p>①ペアになり、好きな色と形をインタビューし合う。</p> <div data-bbox="161 1050 635 1350" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 挨拶 2. じゃんけん 3. 勝った方から先に好きな色、形を訊く。 A : What color do you like? B : I like red. A : What shape do you like? B : I like heart.</p> </div> <p>②HRTのところへ行き、欲しいカードを伝える。</p> <div data-bbox="161 1435 635 1671" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 挨拶 T : What do you like? S : I like big red heart. T : How many? S : One.</p> <p>2. お礼</p> </div> <p>③T-シャツを作る。</p> <p>5. 活動『自分がデザインしたTシャツを紹介しよう』をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTのデモンストレーションを見て、発表の仕方のイメージをつかむ。 	<p>一人でも言えるように繰り返し練習させる。</p> <p>○ めあてを確認させ、友達に好きな色や形を尋ねよう、また、尋ねられたことにははっきり答えようとする意欲を持たせる。</p> <p>[Main activities]</p> <p>○Main activitiesの活動を知らせ、活動の見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツのデザインのために色・形を訊く必要があることを確認する。 ・インタビューのとき、ワークシートは手に持たず、聞き終わってからメモを取るようさせる。 ・形の大きさや数は自分の好きなようにデザインしていいことを伝える。 <p>○デモンストレーションを行い、活動のイメージを持たせる。</p> <p>○言い方がわからない児童の支援を行う。</p> <p>○活動の仕方が上手なペアを賞賛する。</p> <p>○デモンストレーションを行い、活動のイメージを持たせる。</p> <p>○言い方がわからない児童の支援を行う。</p> <p>○活動の仕方が上手な児童を賞賛する。</p> <p>○早く終わった児童は、紹介の言い方を考えさせる。</p> <p>○デモンストレーションを行い、活動のイメージを持たせる。</p> <p>○言い方がわからない児童の支援を行う。</p> <p>○発表の上手な児童を賞賛する。</p>	<p>※相手に伝わるように、はっきり、大きな声で質問したり、答えたりしている。 〈行動観察〉</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------

説明・指示	<ul style="list-style-type: none"> • 同じ活動（T シャツ作り）を行うことで、説明を短くした。 • TT で行うことが可能な場合は、デモンストレーションを二人で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> • 説明がうまく伝わらず、教師の意図する活動にならない場合があった。 • どのような活動かは理解できても、使うフレーズまでは理解できていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● デモンストレーションやプレゼンソフトなどで、活動の様子を視覚的にとらえさせる必要がある。 ● 指導者自身の英語力の向上を図らなければならない。
児童への賞賛	<ul style="list-style-type: none"> • 活動中の声かけ・支援を行った。 • 毎時間振り返りの時間を設定した。 	<ul style="list-style-type: none"> • 振り返りカードへの記入はできていた。 • 全体での振り返りは時間がなくできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 主眼に沿った評価ができていなかった。どの活動でどのように評価するのかを考えて授業を組み立てていく必要がある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 板書やワークシートでは、日本語と合わせて、英語も使った。 	<ul style="list-style-type: none"> • 特に困ったり、拒絶したりするようなことはなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アルファベットに多く触れさせることで、書く活動へとスムーズに移行させたい。

⑤本単元全体を通しての工夫点及び成果と課題

○工夫点

• 単元計画の工夫

児童が主体的に英語を話したり聞いたりできるよう単元の構成の工夫を行った。

第1時では、本単元で使用する単語の発音練習と聞き取る活動を中心にし、第2時は、第1時に出てきた単語を答える活動を中心に据えた。第3時では、第2時で質問されたことを自分が友だちに尋ねる活動を取り入れ、第4時は、本単元で学んだことを使って友だちに質問したり答えたりする活動を行った。このように、聞く活動から話す活動へ、単語から会話へと段階的に難易度を上げるようにした。

• 目的意識のある活動の設定と1単位時間の構成の工夫

自分のTシャツをデザインする。友だちのTシャツをデザインする。といった活動の目的を設定することで、Warming upでの単語練習に意味を持たせるようにした。Looking backでは、毎時間、自己評価カードを用いて、振り返りを行うようにした。

○成果

- Warming upでの単語練習では、テンポよくゲームを進めることができた。
- 短いフレーズであれば、Classroom Englishを使って授業を進めることができるようになってきた。
- 聞く活動から話す活動へ、単語から会話へと段階的に難易度を上げたことにより、もっと難しい課題に取り組んでみたいという意欲を高めることができた。

○課題

<指導者>

- 主眼達成をどの活動で見取るのか、評価を考えた活動計画を立てる。
- 指導者自身の英語力の向上を図る。

<校内外国語活動担当>

- 授業づくりについて校内研修を計画する。

- ・ 英語力向上のための校内研修を計画する。

7 研究のまとめ

○小学校の担任が外国語の授業をするために、具体的でわかり易く誰もが出来る授業をするために次の工夫が必要なことが分かった。

○導入の段階で、英語の歌を聞かせ、英語の雰囲気を作ること。

○Classroom Englishにより日本語から英語への切り替えをすること。

展開では、“One love one heart let’s get together and feel all right.”の歌を歌いながらインタビュー活動を行った。この活動では、大きな声で歌わないとインタビューに答えなければならないという負荷を付けることにより、全員が大きな声で英語の歌を歌い、恥ずかしさを克服させる点で大きなメリットがあった。英語に対して自信がない児童や消極的な児童が多いクラスの実態から、このインタビュー活動は大変意義深かった。本時で必要な表現についても慣れ親しむことができた。

○グループ学習を取り入れたワークでは、教師の発問に対して話し合いながら答えを出すという意欲的な活動ができるようになった。班対抗にして、ポイント制で競わせることにより積極的にコミュニケーションを図ることで盛り上がりのある授業になった。これは、目標としているよく聞き答えようとするコミュニケーション力が達成できたといえる。

8 成果と今後の課題

(1) 成果

①単元で必要な表現について十分に慣れ親しませることで、コミュニケーションに自信をもってインタビューさせることができた。

②英語の歌やゲームを行ったり、フラッシュカードにより語彙を増やしたり、映像に合わせて歌う、踊るなどの動作化をしたりしたことにより、楽しみながら表現や語彙に慣れ親しませることができた。

(2) 課題

①2年後の教科化を前にして現場での取り組みが十分とは言えない。

授業を進める際の学級担任の役割は

○外国語を使おうとする子どものモデルになること

○外国語と子どもをつなぐ架け橋になること

○子どもの様子を見ながら活動を展開し、励ましたり助言したりすること

などであると考える。

これらの課題に対して、学級担任が誰でも簡単にやれるという授業を提案することで、外国語活動がより活性化されていくのではないかと考える。

学校全体の取り組みとして各学校で事前の取り組みの必要性を話し合う必要がある。

○ 参考文献

- ・ 「小学校学習指導要領」 文部科学省
- ・ 「小学校学習指導要領解説 外国語活動編」 文部科学省 東洋館出版社
- ・ 「小学校英語活動実践の手引き」 文部科学省 開隆堂出版
- ・ 「小学校外国語活動の進め方」 成美堂
- ・ 「日本の小学校英語を考える」 三省堂